



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月12日

上場会社名 株式会社白鳩 上場取引所 東
 コード番号 3192 URL <https://www.shirohato.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 菅原 知樹
 問合せ先責任者（役職名） 企画管理事業本部長（氏名） 中江 好春（TEL）075-693-4609
 四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第1四半期の業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	1,307	△10.8	△29	—	△39	—	△40	—
2024年2月期第1四半期	1,466	△5.0	△4	—	△38	—	△57	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年2月期第1四半期	△6.14		—					
2024年2月期第1四半期	△8.71		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	5,944	2,041	34.3
2024年2月期	5,760	2,082	36.1

（参考）自己資本 2025年2月期第1四半期 2,041百万円 2024年2月期 2,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—				
2025年2月期(予想)		—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,018	△5.6	0	—	△28	—	△31	—	△4.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	6,669,700株	2024年2月期	6,669,700株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	13,738株	2024年2月期	13,738株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	6,655,962株	2024年2月期1Q	6,655,962株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、景気は、このところの足踏みもみられるが、緩やかに回復しており、先行きについては、雇用・所得環境が改善すると期待され、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。

このような経営環境のもと、当社は、2024年5月29日開催の第52回定時株主総会において、代表取締役社長に菅原知樹氏が就任し、新たに商品事業本部の担当取締役役に飯野利明氏、社外取締役として筆頭株主の株式会社歯愛メディカルから山内昌晴氏が就任し、経営体制を刷新いたしました。今後、筆頭株主である株式会社歯愛メディカルとの協業も視野に入れ、サービス品質の向上に努め、お客様に選んで頂けるECを目指して各種課題に取り組みつつ、特に営業利益においては前々期で4期ぶりに黒字化したものの、前期は再び赤字となりましたことを真摯に受け止め、当期は赤字解消のための利益確保が最優先と考えております。

国内販売の動向につきましては、広告施策やクーポン施策等各種施策を進めながらも、一部の主力NB商品の値引き率を抑制したことで、売上高は前年同期比87.1%、購入件数は前年同期比87.5%、アクセス数は前年同期比90.7%と下落しました。客単価につきましては前年同期比99.9%と横ばいでした。本店では、AIを利用した広告施策等によってアクセス数が前年同期比112.8%と伸長したものの、購入件数は、前年同期比を下回ったことで、売上高は前年同期比83.9%と低迷しました。楽天市場では競合他社の値引き施策と中国系新興ECの台頭によって低価格帯商品の売上に影響し、売上高は前年同期比89.1%と低迷しました。ヤフーショッピングにおいては、モールの施策コストコントロールの影響によるアクセス数減少のなか、客単価は横ばい、転換率は僅かに伸長(前年同期比プラス0.2%)したことで、売上高は前年同期比93.0%と全体の落込みより下落を抑制することができました。当社では短期的かつ過度な価格競争をすることなく、適切な販売価格に見合ったサービス品質の向上に努め、利益の最大化を目指してまいります。海外販売では、台湾への出店や広告施策が好調に推移し前年同期比164.7%と伸長しました。

PB(プライベートブランド)商品の企画開発をおこなっている、ブルーミングスタイル事業部においては、低価格帯商品の売上が低迷したものの、HIMICOブランドの展開により、事業部売上高は、前年同期比106.5%と伸長しました。利益率は円安等により原価が高騰する中、利益率の高い商材が伸長したことで前年同期比は横ばいで推移しました。ラヴィアドゥ事業部においては、当社の中では比較的、若年層に指示されるブランドが多く、競合の値下げ対応や仕入れ価格の売上転嫁が遅れ、事業部売上高は91.6%と低迷しました。

また、当社のPB(プライベートブランド)CB(コラボレーションブランド)における売上高構成比は、30.2%と前事業年度比でプラス1.6%伸長しました。引き続き、他社との差別化を図るためPBCB商品の拡充に努めてまいります。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,307,544千円(前年同期比10.8%減)、営業損失は29,252千円(前年同期は4,847千円の営業損失)、経常損失は39,985千円(前年同期は38,886千円の経常損失)、四半期純損失は40,842千円(前年同期は57,959千円の四半期純損失)となりました。

なお、当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、5,944,907千円となり、前事業年度末と比較して183,926千円の増加となりました。

流動資産は1,968,620千円となり、前事業年度末と比較して202,266千円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少(前事業年度末より97,376千円減少)、売掛金の増加(前事業年度末より49,860千円増加)及び商品の増加(前事業年度末より242,196千円増加)であります。

固定資産は3,976,287千円となり、前事業年度末と比較して18,340千円の減少となりました。その主な要因は、建物(純額)の減少(前事業年度末より26,348千円減少)、機械及び装置(純額)の減少(前事業年度末より16,111千円減少)及びソフトウェア仮勘定の増加(前事業年度末より28,332千円増加)によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は3,903,401千円となり、前事業年度と比較して224,768千円の増加となりました。

流動負債は1,987,840千円となり、前事業年度末と比較して273,822千円の増加となりました。その主な要因は、シーズン商品の仕入れに伴う買掛金の増加（前事業年度末より190,903千円増加）、短期借入金の増加（前事業年度末より98,097千円増加）及び未払金の減少（前事業年度末より21,873千円減少）によるものであります。

固定負債は1,915,561千円となり、前事業年度末と比較して49,053千円の減少となりました。その主な要因は、シンジケートローンの約定返済に伴う長期借入金の減少（前事業年度末より32,007千円減少）及び長期未払金の減少（前事業年度末より17,092千円減少）によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は2,041,505千円となり、前事業年度末と比較して40,842千円の減少となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少（前事業年度末より40,842千円減少）によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年4月12日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	193,218	95,841
売掛金	282,921	332,781
商品	1,189,315	1,431,512
貯蔵品	20,723	18,059
前渡金	5,136	6,390
前払費用	50,756	49,304
未収入金	23,134	28,804
その他	1,594	6,452
貸倒引当金	△445	△525
流動資産合計	1,766,354	1,968,620
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,741,075	2,741,075
減価償却累計額	△555,299	△581,647
建物(純額)	2,185,775	2,159,427
構築物	66,013	66,013
減価償却累計額	△30,591	△31,733
構築物(純額)	35,421	34,280
機械及び装置	744,337	744,337
減価償却累計額	△351,991	△368,102
機械及び装置(純額)	392,346	376,235
工具、器具及び備品	95,429	96,644
減価償却累計額	△75,458	△77,004
工具、器具及び備品(純額)	19,970	19,640
土地	1,291,928	1,291,928
有形固定資産合計	3,925,443	3,881,511
無形固定資産		
商標権	1,120	1,027
ソフトウェア	18,978	16,476
ソフトウェア仮勘定	41,744	70,076
無形固定資産合計	61,844	87,579
投資その他の資産		
出資金	810	810
差入保証金	5,200	5,305
敷金	810	810
破産更生債権等	1,216	1,127
長期前払費用	408	167
貸倒引当金	△1,105	△1,025
投資その他の資産合計	7,340	7,195
固定資産合計	3,994,627	3,976,287
資産合計	5,760,981	5,944,907

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	-	190
電子記録債務	92,642	90,150
買掛金	190,649	381,553
短期借入金	1,000,000	1,098,097
1年内返済予定の長期借入金	128,030	128,030
前受金	6,050	6,050
前受収益	243	137
未払金	175,215	153,341
未払費用	45,944	50,699
未払法人税等	12,992	4,742
未払消費税等	1,885	-
預り金	3,772	5,611
契約負債	23,860	23,883
賞与引当金	27,334	40,544
その他	5,396	4,807
流動負債合計	1,714,018	1,987,840
固定負債		
長期借入金	1,888,446	1,856,439
長期末払金	20,952	3,859
繰延税金負債	215	262
その他	55,000	55,000
固定負債合計	1,964,614	1,915,561
負債合計	3,678,632	3,903,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,654	1,196,654
資本剰余金		
資本準備金	1,186,654	1,186,654
資本剰余金合計	1,186,654	1,186,654
利益剰余金		
利益準備金	1,500	1,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△302,371	△343,214
利益剰余金合計	△300,871	△341,714
自己株式	△87	△87
株主資本合計	2,082,348	2,041,505
純資産合計	2,082,348	2,041,505
負債純資産合計	5,760,981	5,944,907

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日)
売上高	1,466,178	1,307,544
売上原価	900,322	797,707
売上総利益	565,855	509,836
販売費及び一般管理費	570,703	539,089
営業損失(△)	△4,847	△29,252
営業外収益		
受取利息	3	3
為替差益	157	256
受取手数料	135	110
債務勘定整理益	30	29
協賛金収入	12	8
助成金収入	471	-
受取補償金	1,999	96
その他	92	49
営業外収益合計	2,902	553
営業外費用		
支払利息	5,669	6,136
アレンジメントフィー	31,125	5,000
その他	147	150
営業外費用合計	36,941	11,286
経常損失(△)	△38,886	△39,985
特別損失		
特別功労金	19,750	-
特別損失合計	19,750	-
税引前四半期純損失(△)	△58,636	△39,985
法人税、住民税及び事業税	810	810
法人税等調整額	△1,487	46
法人税等合計	△677	856
四半期純損失(△)	△57,959	△40,842

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。